

決算報告

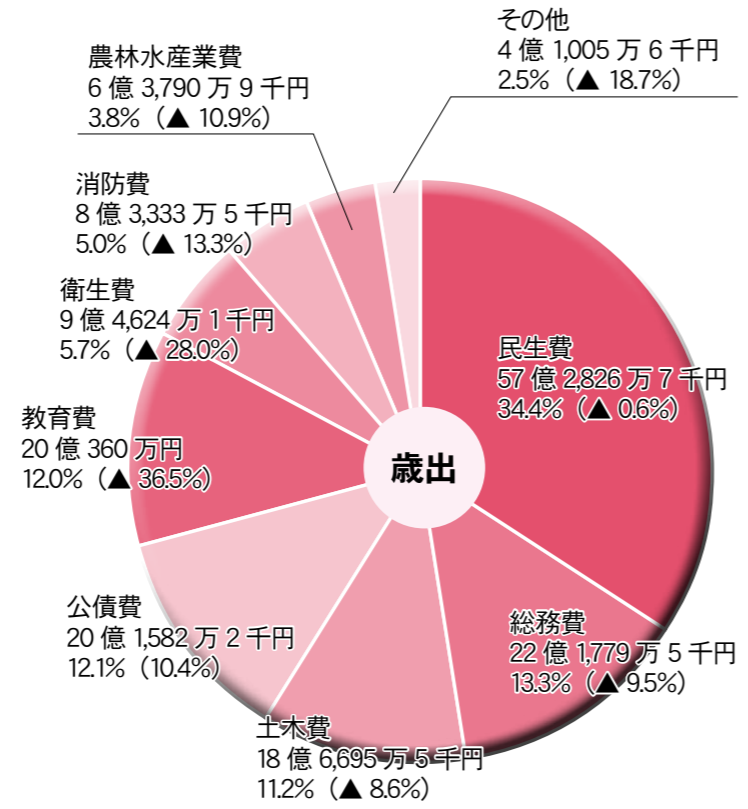
平成28年度決算が、平成29年かすみがうら市議会第4回定例会で認定されました。一般会計は、歳入総額175億2,053万9千円、前年度決算に比べ9.4%の減。歳出総額が166億5,998万9千円で11.1%の減。歳入歳出差引額は、8億6,055万9千円となっています。

政策経営課(千代田庁舎)

一般会計 歳入・歳出の状況

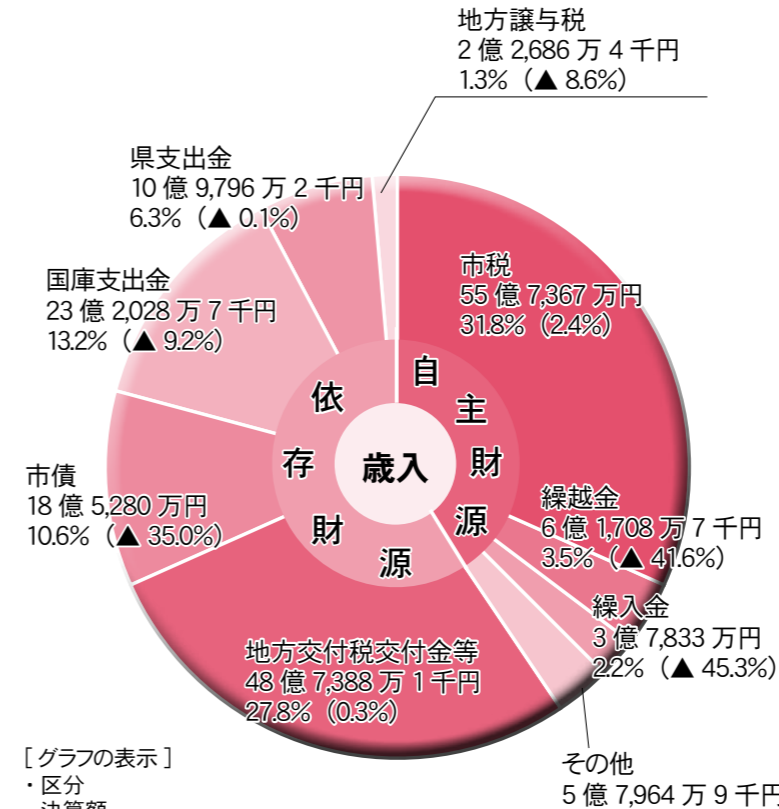
一般会計歳出

総額 **866億 5998万円**



一般会計歳入

総額 **889億 2093万円**



[グラフの表示]
・区分
・決算額
・構成比(前年度比)

財政健全化の状況

財政健全化判断

基準をクリア

■健全化判断比率 ※「-」表示は赤字なし

	本市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	13.19	20.0
連結実質赤字比率	-	18.19	30.0
実質公債費比率	10.9	25.0	35.0
将来負担比率	68.2	350.0	-

■資金不足比率 ※「-」表示は資金不足額なし

	本市	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0
下水道事業特別会計	-	20.0
農業集落排水事業特別会計	-	20.0

特別会計 歳入・歳出の状況

後期高齢者医療特別会計、農業集落排水事業特別会計は、前年度と比較して増となっています。それぞれ、前年度と比較すると、後期高齢者医療特別会計は、医療費の増加に関連し歳入・歳出ともに増となっています。農業集落排水事業特別会計は、処理場などの修繕ならびに管路台帳作成費などにより増となっています。

特別会計	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	57億 8,740万 2千円(▲2.9%)	57億 8,514万 2千円(▲0.3%)	226万円
後期高齢者医療特別会計	7億 75万 3千円(6.3%)	6億 9,783万 2千円(6.3%)	292万 1千円
下水道事業特別会計	10億 9,465万 4千円(0.1%)	10億 7,122万 1千円(▲0.7%)	2,343万 3千円
農業集落排水事業特別会計	4億 4,327万 5千円(4.3%)	4億 3,486万 1千円(4.2%)	841万 4千円
介護保険特別会計	32億 5,747万 4千円(1.3%)	31億 9,711万円(2.5%)	6,036万 4千円

※カッコは前年比

一般会計歳出

歳入 出決算額は、前年度より11.1%減少しています。それぞれ、前年度と比較すると、土木費は街路整備事業の進捗状況に伴い、用地取得費や物件等補償費などが終了したことによる8.6%の減、教育費は小学校の統合に係る事業、学校施設の整備に係る事業がおおむね終了したことにより、36.5%の減、衛生費は、土浦協同病院建設支援事業補助金などがなくなったことによる28.0%の減となっています。

一般会計歳入

歳入 入決算額は、前年度より9.4%減少しています。それぞれ前年度と比較すると、市税は、微増の2.4%の増となりました。一方、市債、国庫支出金については、小学校の統合に係るものや学校施設の整備に係るものや学校施設の整備に係る事業がおおむね終了したことによる減、繰入金については、土浦協同病院建設支援事業補助金などに充てるものや、公立学校統合環境整備に係るものなどが減となっています。

財政健全化判断

◎健全化判断比率
地方公共団体の実質的な赤字や、公社・関係団体等を含めた実質的な将来負担に係る指標の健全化判断比率と、公営企業ごとの資金不足比率を算出し、監査委員の審査を受けて議会に報告、公表することとされています。各比率が早期健全化基準を上回った場合は、財政健全化計画を策定し、自主的な改善努力により財政健全化を図ることになります。財政再生基準を上回った場合は、財政再生計画を策定し国などの関与による確実な財政再生を図ることになります。

◎資金不足比率
水道事業会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計における資金不足額の事業規模に対する比率を表し、本市では、いずれの会計も資金不足率は算定されません。

